

市長所信表明

平成30年留萌市議会第1回定例会

I はじめに

II 市政に臨む基本理念

- 1 「市民の生活力の向上」
- 2 「稼げる留萌への基盤づくり」
- 3 「市民の安心の実現」

III おわりに

I はじめに

平成30年留萌市議会第1回定例会の開会にあたり、私の市政執行に臨む所信の一端を申し上げ、市議会議員の皆さんをはじめ、市民のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、去る2月の市長選挙におきまして、多くの市民の皆さんの温かいご支援を賜り、留萌市長に初当選させていただきました。

市民の皆さんの大きな期待を思うとき、私に課せられました責務の重大さと役割の大きさに身の引き締まる思いをいたしております。

私は、留萌市で生まれ、これまで42年間市職員として、4人の市長に仕えながら、留萌市の現状や課題と向き合い、微力ながらも市政発展のため力を注いで参りました。

市職員として得られたこれまでの多くのご縁を財産に、ふるさと留萌を愛する市民のために、持っている力を十分発揮し、この光栄ある任務に向って全力をあげて取り組んで参る決意であります。

同時に、市政の発展という大きな役割を担っておられる市議会議員の皆さんや、経済界の皆さんとともに、3者がしっかりスクラムを組み、力を合わせて市民の期待と信頼に応えるよう全力を尽くして参りたいと

思っております。

また、このたび退任をされました高橋前市長には、3期12年にわたり、留萌市の発展のためにご尽力いただきましたことを、議員の皆さん、そして市民の皆さんとともに心から感謝を申し上げたいと思います。

高橋前市長の今後のご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも留萌市の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、今日の地方行政を取り巻く環境は、市民ニーズが多様化する中、人口減少問題や、少子高齢社会への対応、地域産業力の向上や異常気象に伴う災害への備えなど、地方都市が直面する困難な課題に対し、地域の個性と潜在的な価値を見出しながら、「地方創生」の成果を導く施策の構築が求められております。

市民の声に耳を傾け、子ども達の未来を責任世代である大人が真正面から向き合い、対話、計画、実行と留萌市のまちづくりを進めていかなければなりません。

これまで進めてきた財政健全化の取り組みにより、今こそ市民の皆さんと一緒に未来を想像したまちづくりを展望していけるものと考えており、安定的で、持続可能な財政運営を基本としながら、市民が市民力を発揮し、新たな発想や活力を生み出すための、未来への投資を進めて参ります。

Ⅱ 市政に臨む基本理念

このような思いを市政運営に映すため、はじめに私の市政執行にあたり「市民の生活力の向上」、「稼げる留萌への基盤づくり」、「市民の安心の実現」の3本柱を掲げ、市民の皆さんや職員とコミュニケーションを図りながら、「心豊かで安心なまちづくり」を市政運営の基本理念として進めて参ります。

このような認識に立ち、私のこれからのまちづくりにおける基本的な考えを申し上げます。

1 「市民の生活力の向上」

一つ目に、誰もがいきいきと働ける元気なまちをめざし、企業と就労者への一体的な支援を行い、地元経済の活性化に取り組む「市民の生活力の向上」であります。

留萌市には誇れる企業、技術力があり、関係機関との連携により、若い人達にこれらの技術を伝える環境を充実させ、地元での雇用づくりと企業が求める人材の育成、確保に努めて参ります。

また、起業や新規参入企業の誘致、働く意欲のある中高年と企業との

マッチングなど市内企業の新たな取り組みや、1次産業への新規就業者の育成、支援を積極的に進め、産業の担い手となる「人材の確保と人づくり」に取り組んで参ります。

2 「稼げる留萌への基盤づくり」

二つ目に、豊かな自然環境と地域特性を最大限に生かしながら、活力ある地域づくりの基盤を整える「稼げる留萌への基盤づくり」であります。

良質なるもい産米をはじめ、自然環境に左右されない「育てる漁業」の確立に向けた生産基盤の強化や、6次化に向けた調査、研究を進めながら、1次産業の経営安定に取り組んで参ります。

また、地域の稼ぐ力を導き出し、かずの子やるもい産米などを例に、新たな特産品の創出や消費、販路拡大による留萌ブランドの発信に取り組んで参ります。

深川留萌自動車道の全線開通が間近に迫る中、国道の結節点に位置する船場公園を交流拠点とし、新しい交流人口の創出と港を含めた面的な相乗効果を高めながら、「道の駅」の登録に向け、準備を進めて参ります。

また、留萌の自然環境を生かした滞在型の「観光地域」づくりや、市民力を生かした、新たな発想を引き出す環境づくりについても積極的に取り組んで参ります。

3 「市民の安心の実現」

三つ目に子ども達に夢と、女性や高齢者に優しい思いやりのある「市民の安心の実現」であります。

市民のいのちを第一に、2次医療機関である留萌市立病院の経営安定を図りながら、安心できる地域の医療体制構築に取り組んで参ります。

また、在宅医療や介護従事者の充実を支援し、地域包括ケアシステムの構築を進め、地域における「あんしん見守りネットワーク」や、健康づくり活動の充実を図りながら、高齢者に優しく思いやりのあるまちの実現に向け、取り組んで参ります。

「留萌の宝」である子ども達を、この地域で安心して産み、育てることができる環境づくりに向け、保育料や医療費の負担軽減策をはじめ、地域での子育て支援体制の充実強化、さらには、保護者や地域、学校と連携した「学びや遊び」を実践できる場づくりに取り組んで参ります。

JR留萌本線が置かれた現状を真正面から受けとめ、市民の生活、経済への影響を考慮し、課題解決に向けて市民と協議を行いながら、市民にとって最善な方向性を示して参ります。

また、老朽化した公共施設整備の今後のあり方については、官民一体のプロジェクトチームにより、市民目線で使いやすい都市計画の方向性について、協議を進めて参ります。

市民の皆さんの生命、財産を守るため、関係団体と連携した防犯、防災体制の強化、さらには、地域をあげた自衛隊の駐屯地活動への協力を維持することにより、安心を確実に届けられる市政の実現に取り組んで参ります。

Ⅲ おわりに

以上、市政に取り組む私の基本的な考えについて申し上げます。

第6次留萌市総合計画に基づいた施策の推進と、中期財政計画による財政規律を遵守しながら、安定的で持続可能な行財政運営を、市民の皆さんとともに、着実に取り組んで参ります。

本年は、「留萌（るもい）」と命名されてから150年の節目を迎えました。

あらためて、留萌の先人が築いたこれまでの数々の功績を思いめぐらせながら、次の時代を切り開き、新たな留萌の幕開けとともに、ふるさと留萌の発展に挑戦し続ける決意であります。

なお、具体的な諸施策につきましては、次の議会開催時に、予算等のご審議をいただく段階で明らかにして参りたいと存じます。

議員各位、並びに市民の皆さんの特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、私の所信表明といたします。

平成30年3月20日

留萌市長 中西俊司